

平成28年度

# 第二次沼田市環境基本計画 年次報告書

平成29年10月

沼 田 市

## 本調査について

### 1 調査目的

本調査は「第二次沼田市環境基本計画（第二次計画）」に定める6つの柱（基本方針）ごとに、施策事業の実施状況、目標の達成状況等を年度ごとに点検、把握することにより、今後の施策事業の効果的な推進や計画の進行管理に役立たせるとともに、本市環境行政に対する市民の理解を促進することを目的として実施したものです。

### 2 調査対象及び対象年度

本調査は、平成28年度中に実施した第二次計画に基づく各種施策、事業等の実績に対する調査です。

### 3 調査方法

下記アからウについて、各課が進捗状況点検調書を作成（自己点検）することにより実施しました。

ア 実施施策事業の概要、現在までの経過

イ 平成28年度における実施状況及び評価

＜評価の項目＞

A 目標を上回る効果

B ほぼ目標どおりの効果

C 目標を下回る効果

D 現時点で判断できない

ウ 評価の理由と課題

### 4 調査結果

平成28年度における実績及び評価内容について、6つの柱ごとに掲載しています。

### 5 調査結果の公表について

沼田市環境基本条例第10条により、調査結果については沼田市環境審議会において報告し、市ホームページに掲載し公表します。

# 目 次

<b>1 自然環境の保全と再生</b> .....	1
森林整備事業（1－①）.....	1
林業の担い手育成（1－③）.....	1
森林ボランティアとの連携（1－④）.....	2
森林・木材に親しむ体験教室（1－⑤）.....	2
地場産木材活用の普及啓発（1－⑥）.....	2
<b>2 自然との共生</b> .....	3
生物多様性の確保（2－①）.....	3
有害鳥獣対策（2－②）.....	3
玉原高原の保全と活用（2－③）.....	4
自然を知り親しむ体験教室（2－④）.....	5
田園空間の保全と整備（2－⑤）.....	6
農地の適正管理、耕作放棄地対策（2－⑥）.....	6
開発事業や事業活動における環境への配慮（2－⑦）.....	7
<b>3 生活環境の保全</b> .....	10
生活雑排水処理（3－①）.....	10
公害防止対策（3－②）.....	11
不法投棄対策（3－③）.....	13
野焼き等の防止（3－④）.....	13
公共交通機関の充実（3－⑤）.....	13
地域美化（3－⑥）.....	14
都市緑化の推進（3－⑦）.....	15
緑化、花いっぱい運動の推進（3－⑧）.....	16
景観の形成（3－⑨）.....	17
自然災害の軽減（3－⑩）.....	17
放射線対策（3－⑪）.....	17
空き家対策（3－⑫）.....	18
<b>4 循環型社会の構築</b> .....	19
ごみの分別の徹底（4－①）.....	19
廃棄物適正処理の推進（4－②）.....	20
資源リサイクルの推進（4－③）.....	21
<b>5 地球温暖化の防止</b> .....	22
地域での温室効果ガス対策の推進（5－①）.....	22
再生可能エネルギーの活用推進（5－②）.....	24
<b>6 協働による環境像の実現</b> .....	26
環境活動団体との連携（6－①）.....	26

環境啓発イベント等の開催（6－②） .....	27
環境教育の推進（6－③） .....	28

# 1 自然環境の保全と再生

## — 重点施策 —

### 森林環境の整備

森林は水源涵養機能や土砂災害の防止、大気浄化などの公益機能とともに多様な生物を育てています。豊かな森林による恩恵が永続して享受できるよう、その保全と整備を図ります。

### 水環境の保全

健全な水環境を確保するため、生物の生息しやすい河川等の護岸整備、水質汚濁防止に向けた取り組みを関係機関と連携し、実施します。

## 森林整備事業（1－①）

### 造林や間伐の推進

#### 美しい森づくり基盤整備事業／農林課

内容：森林所有者及び森林組合が行った間伐事業・森林整備事業に対し助成した。

目標：26.07ha 実績：26.07ha（美しい森づくり基盤整備事業）

評価：B 事業要望のあった要間伐齢に達した森林の整備については予定どおり実施した。

間伐を行うことで、山林の持つ多面的な機能の維持管理を図る事ができた。

## 林業の担い手育成（1－③）

### 林業後継者の確保、育成

#### 林業の担い手育成／農林課

内容：退職金共済や厚生年金掛金の事業者負担分への助成を行った。

目標：延べ加入者数 60人

実績：延べ加入者数 63人（12事業所）

評価：A 目標を上回ることができたが、林業従事者の雇用は流動的であるため、引き続き事業体への補助を実施し、林業従事者の雇用促進につなげたい。

### 林産資源の活性化促進

#### 特用林産物生産活力アップ事業／農林課

内容：きのこ生産施設の導入に対して補助を行いきのこ生産の向上を図った。

目標：培養室ヒーター6台、きのこ生産ラック100台、薪ストーブ1台

実績：培養室ヒーター6台

評価：C 本事業は群馬県単独事業である。群馬県の予算の都合により当初要望した事業が全ては採択にならず、実施できなかった施設整備がありC評価となった。

採択にならなかった施設整備については、引き続き県へ要望していく考えである。

## 森林ボランティアとの連携（1-④）

---

### 森林ボランティア（下草刈り、間伐等）の育成

#### 森林ボランティアとの連携／農林課

内容：市民参加のボランティア組織により森林づくりへの気運を高める。

目標：ボランティア登録者45名によるボランティア活動の実施

実績：総勢44名によるボランティア活動の実施

評価：B 現役の林業従事者から、地元の高校生まで多数の市民の参加が得られ、森林づくりへの気運が高められた。

## 森林・木材に親しむ体験教室（1-⑤）

---

### 市民の森の周知と活用促進

#### 市民の森管理事業／農林課

内容：森林公園整備及び既存施設の維持管理

目標：森林整備 50日 施設清掃 35回（7日に1回）

実績：森林整備 50日 施設清掃 32回

評価：B ほぼ計画どおりの作業が行われ、森林公園の適正な管理が図られた。

## 地場産木材活用の普及啓発（1-⑥）

---

### 地場産材の公共施設への利用

#### 沼田市公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針／農林課

内容：1 市有施設における木造化 2 施設の木質化

3 家具、備品及び調度品の木質化の推進 4 木質バイオマス等の推進

5 市施工土木工事等における木材利用促進

目標：全庁的に取組を推進する。

実績：1 市有施設における木造化…1件

3 家具、備品及び調度品の木質化の推進…1件

5 市施工土木工事等における木材利用促進…3件

評価：D 施設整備等は、建築基準法等により木造化が困難な場合もあるが、備品等の木質化の推進に努めていきたい。

## 2 自然との共生

### — 重点施策 —

#### 自然との共生エリアの創出

地域の特性に応じ、人々が自然とふれあえる場の整備を行うとともに、生物の多様性\*が確保されるよう、貴重種等の保全に向けた取り組みを推進します。

#### 事業活動における環境負荷の低減

事業活動での環境負荷を減らすための情報提供や学習機会を設けます。

公共事業においては、自然への配慮や温暖化対策も踏まえた環境配慮指針を定めるなど、環境への負荷に配慮した事業を行います。

### 生物多様性の確保（2-①）

#### 特定外来生物の生息状況把握、情報提供

##### 玉原地区外来生物防除作業／環境課

内容：玉原東急リゾート敷地内において利根沼田自然を愛する会、関東森林管理局利根沼田森林管理署、玉原東急リゾート、市職員で協力しながら特定外来生物及び要注意外来生物の防除作業を実施した。

目標：参加者25名 防除重量60kg（前年度実績）

実績：参加者33名 防除重量160kg

評価：B 目標よりも参加者が増加したため。

### 有害鳥獣対策（2-②）

#### 有害鳥獣被害の把握、情報収集

##### 有害鳥獣対策／農林課

内容：有害鳥獣による農作物被害等を防止するための対策

目標：イノシシ145頭 ハクビシン180頭 サル235頭 シカ345頭（捕獲計画数）

実績：イノシシ241頭 ハクビシン178頭 サル367頭 シカ546頭 クマ43頭  
タヌキ55頭

評価：A 捕獲は目標を上回る成果をあげた。

また人身被害防止対策による捕獲となったクマについては、捕獲数も前年を大きく上回ったものの迅速な対応により、人身被害もなく、農作物被害も最小限に抑えることができた。有害鳥獣として捕獲促進の反面、保護動物として存在している部分もあり、今後も捕獲については十分な配慮が必要とされる。

人身被害の懸念がある獣類の人里への移動経路が河川敷であることが顕著に見られたことから、今後は県（河川管理者）との連携等も重要と考えられる。

## 有害鳥獣対策の推進

### 有害鳥獣対策／農林課

※上記事業と同じ

## 玉原高原の保全と活用（2－③）

---

### 森の博物館、自然体験の場としての活用

#### 森の博物館、自然体験の場としての活用／観光交流課

内容：一般観光客が来訪したり、利根沼田自然を愛する会などによる自然観察会が多く行われているため、森に入りやすい、植物等を観察しやすいように遊歩道及び指導標等の管理・整備を実施した。

目標：平成28年度も引き続き同様に実施する。

実績：指導標修繕（3箇所）湿原内木道修繕（2箇所）玉原高原内キャンプ場便所修繕（配管部分）

評価：B 予定していた箇所について修繕を実施できたことから、B評価とした。

指導標及び木道については例年積雪により破損が激しいため、速やかな整備が課題である。

### 関係機関やボランティアなどと連携を強化したパトロールの実施

#### 関係機関やボランティアなどと連携を強化したパトロールの実施／観光交流課

内容：利根沼田森林管理署、利根沼田自然を愛する会の独自の活動と同時に行われるパトロールと同様、当課においても遊歩道・木道の確認作業と同時に周辺を監視した。

目標：平成28年度も引き続き同様に実施する。

実績：実績数値の把握を行っていないため不明。

評価：— 玉原へ行く機会があれば随時実施しており、実績数値の把握を行っていないことから、総合評価なしとした。

今後も引き続き監視体制を維持していきたい。

### 観光客へのマナー向上の啓発

#### 観光客へのマナー向上の啓発／観光交流課

内容：当市発行のパンフレット「玉原高原遊歩道散策マップ」及び「ぬまた山歩きガイド」に自然保護についての注意喚起文を入れており、これを観光客・ハイカーに配付することにより、マナー向上を図った。

目標：「玉原高原遊歩道散策マップ」増刷 30,000 部

実績：「玉原高原遊歩道散策マップ」増刷 30,000 部（5月 10,000 部、8月 20,000 部）

評価：B 設定した目標どおりの実績を達成できたため、B評価とした。

しかし、ゴミのポイ捨てや植物を持ち帰る等の事例がまだまだ見られることから、より一層の啓発をする必要がある。

## 遊歩道や木道、標識等の適切な管理

### 遊歩道や木道、標識等の適切な管理／観光交流課

内容：冬期の雪害・腐朽により破損した木道等の修繕を実施。また、経年劣化等で破損していた玉原高原内の指導標の修繕をした。

目標：前年度同様、破損箇所の修繕を実施する。

実績：指導標修繕（3箇所） 湿原内木道修繕（2箇所） 玉原高原内キャンプ場便所修繕（配管部分）

評価：B 予定していた箇所について、事業を実施できたことからB評価とした。

遊歩道については全体的に経年劣化が進み、全体的な改修が必要であったが、平成29年度、平成30年度において整備工事を行う。

## 自然を知り親しむ体験教室（2-④）

### 自然体験活動の場の設定、自然体験活動の推進

#### 青少年自然体験活動推進事業「沼田ネイチャーキッズ」／社会教育課

内容：利根沼田テクノアカデミー（旧南郷小学校）を会場に、2泊3日の日程で青少年自然体験活動推進事業「沼田ネイチャーキッズ」を実施

目標：小学校5年生から中学生までを対象に50人を定員として募集した。

実績：小学生30人、中学生11人、役員等51人 合計92人

評価：B 少子化等の影響により、定員には達しなかったものの、参加者の声を聞くと概ね好評であり、知名度も高く、前年度と同様に事業を実施できた。

### 親子木工教室の開催

#### 親子木工教室の開催／産業振興課

内容：親と子の木工広場 期日：平成28年8月20日(土)、21日(日)の2日間

場所：上之町天狗プラザ

内容：夏休みに合わせて親子木工広場を実施した。

主催：沼田木材組合

ニュー木工工作広場 期日：平成28年11月13日(日)

場所：下之町イシザワ駐車場

内容：ふびす講・大商業祭に合わせて親子木工広場を実施した。

主催：利根沼田建築相互組合

目標：両事業併せて約250名

実績：親と子の木工広場・・・71組163名、ニュー木工工作広場・・・30組70名

評価：B 主催団体の協力により、夏休み期間中とふびす講・大商業祭に合わせて開催したことで、233名とほぼ目標どおりの参加者があった。

また、ニュー木工工作広場では、組合員による包丁等の金物研ぎも実施した。

## 田園空間の保全と整備（２－⑤）

---

### 農村関係の保全、整備

#### 山村振興促進事業／農林課

内容：集落協定または個別協定に基づき、５年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等に対して、農地の不利性や面積に応じて交付金を交付する。

目標：協定締結数 23 協定 協定活動達成率 100%

実績：協定締結数 23 協定 協定活動達成率 100%

評価：B 過疎化・高齢化等による協定組織の活動が年々難しい状況になってきており、平成26年度には1組織がやめてしまった。

平成27年度から地元への推進を再三にわたり図ったところ、平成29年度から再度協定を締結し活動を始めていただけることとなった。

## 農地の適正管理、耕作放棄地対策（２－⑥）

---

### 農業経営者への支援

#### 農業後継者や新規就農者の育成、確保／農業委員会

内容：新規就農者による農地の取得または借受について、農地情報バンク等により農地所有者との利用調整を行った。また、新規就農者に対する補助事業の周知や技術支援について、市と連携して行った。

目標：新規参入者数 2 経営体（面積1ha）

実績：新規参入者数 1 経営体（面積0ha）

評価：C 目標を下回るC評価であった。改正農業委員会法により、「農地等の利用の最適化」が新たな必須業務として位置づけられ、新規参入の促進が重要な活動となった。今後、地域における新規参入の情報をいち早く取得し、県、市と連携しながら補助事業、技術支援等により、いかにサポートしていくことが重要であると思われる。

### 農業後継者や新規就農者の育成、確保

#### 農業後継者や新規就農者の育成、確保／農林課

内容：新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保する交付金を就農開始から最長5年間、年間150万円を上限に給付する。

目標：新規就農者の増加ならびに、経営の自立に向けた支援

実績：給付対象者3名への給付

評価：D 本事業は、経営の自立を目指し支援する事業であり、最終的には補助制度に頼らず営農できることが望ましい。

関係機関と連携し、補助のみでなく自立した営農に向け支援を行いたい。

## 農用地有効利用のための利用集積の推進

### 農用地有効利用のための利用集積の推進／農業委員会

内容：推進会議等を開催し、農業経営強化促進法に基づく利用権の設定や農地中間管理事業を利用した農地の利用集積・集約化に向け積極的に推進に取り組んだ。農地情報バンクの有効利用により、農業経営規模縮小やリタイアを希望する農家の相談を受け、認定農業者等担い手への指導・助言を行い農地のマッチング活動を実施した。

目標：新規集積面積 11ha

実績：新規集積面積 19ha

評価：A 目標を上回るA評価となった。農地中間管理事業を利用した農地集積を進めるため推進会議等において、取り組み内容を確認し、規模拡大や農地集積を希望する農家に対し、指導・助言を行い利用権設定に取り組んだ結果だと思われる。今後、農業経営規模縮小やリタイアを考えている農家に対し農地をいかに認定農業者等担い手につなげていくかが重要であると思われる。

## 利用状況調査の実施に伴う遊休農地の発生防止・解消

### 利用状況調査の実施に伴う遊休農地の発生防止・解消／農業委員会

内容：農地パトロール（利用状況調査）の結果、利用意向調査の実施に基づき、所有者等から表明された意向の内容を勘案しつつ、農地の利用増進に向けて利用調整を行う。

目標：遊休農地解消面積 7ha

実績：遊休農地解消面積 6.5ha

評価：B ほぼ目標どおりのB結果となった。中山間地域においては、鳥獣被害が多く、土地改良等基盤整備していない形状、広狭、接道の悪い農地は、借り手が無く、耕作者の高齢化の問題もあり、遊休農地の増加は更に進んでいる状況にあり、営農再開はなかなか厳しい状況にある。農地をいかに認定農業者等担い手につなげていくかが重要であると思われる。

## 開発事業や事業活動における環境への配慮（2-⑦）

### 開発行為に対する環境配慮の指導・監視

#### 開発行為に対する環境配慮の指導／都市計画課

内容：沼田市地域開発事業指導要綱に基づき、開発行為に対して公園、緑地又は広場の設置等、環境への配慮の指導を行った。

目標：申請によるものなし

実績：4件

評価：B 各種事業者からの申請に対して公園、緑地又は広場の設置等、環境への配慮の指導を行うものであり、指導により一定の整備は図られ目的は果たせたと思う。

## 環境負荷の少ない公共事業の推進

### 県単独事業／農林課

内容：工事特記仕様書を添付し、その中でも建設リサイクル法の遵守、排出ガス対策機械使用を促進し、環境への負荷の低減を図るよう請負業者に対し指導、管理する。

目標：指導・管理件数 工事4件

実績：指導・管理件数 工事4件

評価：B 環境配慮への指導もかなり浸透してきたと思われ、業者への徹底が図られてきていると思われる。

### 市単独事業／農林課

内容：工事特記仕様書を添付し、その中でも建設リサイクル法の遵守、排出ガス対策機械使用を促進し、環境への負荷の低減を図るよう請負業者に対し指導、管理する。

目標：指導・管理件数 修繕10件、機械借上10件、委託5件、工事5件、原料支給15件

実績：指導・管理件数 修繕28件、機械借上4件、委託9件、工事11件、原料支給18件

評価：A 環境配慮への指導もかなり浸透してきたと思われるが、小規模業者においては、まだ、内容の詳細について理解していない業者も見受けられ、今後も指導・管理していきたい。

### 都市公園等照明LED化推進事業／都市計画課

内容：都市公園等LED照明設置工事

目標：40基

実績：47基

評価：A 平成28年度末でLED化更新済み照明は65基、未整備96箇所である。公園内照明のLED化による環境負荷の低減を図ると共に、不点灯防止の効果により「安全・安心」の向上が期待できることから、今後も同様の手法で整備し、早期の完成を目指すものとする。平成28年度では、一般競争入札にて事業を実施する事で当初計画より7基分の照明設置を増工し、事業進捗を図ることが出来た。

### 公共下水道建設事業／上下水道課

内容：全発注工事において、環境配慮公共工事特記仕様書を契約書に添付し、環境負荷の低減を図るよう指示した。

目標：工事発注時の環境配慮特記仕様書添付及び指導 33件

実績：工事発注時の環境配慮特記仕様書添付及び指導 33件

評価：B 予定された全ての工事において本施策を実施したため、Bとした。

今後とも、工事発注（設計・積算）時における環境配慮型の製品・機械等の積極的な計上及び請負者に対する「環境配慮特記仕様書」に基づく環境負荷低減の指導を、継続実施していくことが必要とされる。

## 家畜排せつ物の適正な処理

畜産経営環境改善事業／農林課

内容：殺虫剤や消毒剤の導入、畜舎消毒に対する助成を行った。

目標：畜舎消毒 3回

実績：3回 消毒農家数 7戸

評価：B 計画通りの消毒作業が実施されたことにより、害虫の発生が予防され畜舎等の環境保全が促進された。

## 3 生活環境の保全

### — 重点施策 —

#### 快適な生活環境の確保（安心してくらす安全で快適な環境づくり）

水質、道路交通騒音・振動などが生活環境に与える程度を監視するとともに、関係機関と連携し、良好な生活環境を確保するための対策を実施します。

福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質による環境汚染への監視と情報の提供を進めていくとともに、有害化学物質や新たな物質による環境汚染への対応、環境面から自然災害の軽減など、環境リスクの低減を推進していきます。

### 生活雑排水処理（3-①）

#### 公共下水道の整備及び普及

##### 公共下水道建設事業／上下水道課

内容：平成28年3月に事業計画を変更し、計画区域面積を汚水826ha、雨水657ha、計画汚水処理人口23,547人、事業計画期間を平成32年度末として整備を実施。

目標：汚水管渠布設 L=836m A=2.07ha

実績：汚水管渠布設 L=836m A=2.07ha

評価：B 単年度での事業評価は、当該年度予定した進捗は達成されたためBとした。

しかし、事業計画全体としてみると、過去の年間整備実績と比較した場合、近年の年間整備状況は財政状況により相当縮小されたものとなっており、事業計画による目標を満たす進捗状況とはなっていない。

#### 合併処理浄化槽の普及促進

##### 合併処理浄化槽設置整備事業／上下水道課

内容：対象地区において、合併処理浄化槽設置者に対して設置費用の一部を補助金として交付することで合併処理浄化槽の普及を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

目標：補助金交付100件

実績：補助金交付 70件

評価：C 目標値に対し、合併浄化槽設置者の申請件数（実績値）が下回ったが、今後とも普及のためのPRを行い、新規設置並びに汲み取り便所・単独浄化槽からの転換促進を図りたい。

## 公害防止対策（3-②）

---

### 事業所への法令遵守の指導

#### 道路補修事業ほか6事業／建設課

内容：市が発注する一定規模以上の土木工事、舗装工事その他これらに類する工事については、環境配慮特記仕様書に基づき環境負荷の低減を図るよう請負業者に指示し管理した。

目標：市発注工事における環境配慮事項 計画 31件

実績：市発注工事における環境配慮事項 実績 33件

（道路補修工事 20件、舗装補修工事 3件、消雪施設補修工事 2件、防護柵設置工事 2件、道路改良工事 1件、橋梁補修工事 2件、災害復旧工事 3件）

評価：B 当初予定にない災害復旧工事にも対応を行った。

### 公害苦情への適正な対応

#### 公害苦情対応／環境課

内容：典型7公害に関わる苦情に限らず、空き地の雑草の繁茂や害虫の大量発生等、生活環境に関わる相談も受け付けた。

目標：市民の快適なくらしの確保及び良好な生活環境を保全するため、受け付けた苦情に対し速やかかつ適切に対応する。

実績：件数：66件

（大気：14件、騒音：9件、振動：0件、悪臭：7件、水質汚濁：3件、その他：33件）

評価：D 引き続き、苦情対応を実施するものとする。

### 水質、騒音等の調査及び監視

#### 定期水質検査（直営）／環境課

内容：毎月1回、市内河川10箇所において水質検査を実施した。

検査項目は、水温、透視度、pH、SS（浮遊物質）、BOD（生物化学的酸素要求量）。

目標：市内河川の水質状況把握のため、毎月1回、市内河川10箇所において水質検査を実施する。

実績：予定していた検査を実施することができた。結果を過年度データと比較したところ、結果は例年どおりであり、大きな変化は認められなかった。

評価：B 引き続き水質検査を実施するものとする。

#### 市内河川水質検査（全窒素、全磷）／環境課

内容：例年、8月及び12月に市内河川の9箇所において、全窒素・全磷・溶存酸素量（DO）・大腸菌群数の4項目について専門業者による水質検査を実施。

全窒素及び全磷は年2回、大腸菌群数及び溶存酸素量は年1回検査を実施。

目標：市内河川の水質状況把握のため、8月及び12月に専門業者による水質検査を実施する。

実績：予定していた検査を実施することができた。結果を過年度データと比較したところ、結果は例年どおりであり、大きな変化は認められなかった。

評価：B 引き続き水質検査を実施するものとする。

#### 環境騒音測定調査（直営）／環境課

内容：水道会館前において、3月の平日の24時間の騒音と、10分間の交通量を2回測定した。

目標：環境基準の達成状況を把握するとともに、各種環境施策及び調査へ反映させるため、自動車交通騒音測定調査を実施する。

実績：環境基準値が基準時間帯平均騒音レベル（dB）で 昼：70 夜：65のところ、測定値が 昼：60 夜：54であり、昼夜ともに基準値以内であった。

評価：B 引き続き測定を実施するものとする。

#### 自動車交通騒音測定調査（直営）／環境課

内容：国道17号沿いの岩本町地内において、1週間自動車交通騒音測定調査を行った。

目標：環境基準の達成状況を把握するとともに、各種環境施策及び調査へ反映させるため、自動車交通騒音測定調査を実施する。

実績：環境基準値が等価騒音レベル（dB）で 昼：70 夜：65のところ、測定値が 昼：66.4 夜：64.6であり、昼夜ともに基準値以内であった。

評価：B 引き続き測定を実施するものとする。

#### 関越自動車騒音測定調査（直営）／環境課

内容：堀廻町地内の関越自動車道沿線の民家において、自動車交通騒音測定調査を実施した。

目標：関越自動車道沿線における交通騒音の実態を把握し、各種環境施策及び調査へ反映させるため、堀廻町地内において自動車交通騒音測定調査を実施する。

実績：近隣地域の環境基準値が等価騒音レベル（dB）で 昼：65 夜：60のところ、測定値が 昼：52.9 夜：51.7であり、昼夜ともに基準値以内であった。

評価：B 引き続き測定を実施するものとする。

#### 自動車騒音常時監視／環境課

内容：業者委託し、常時監視を実施した。調査場所は沼田赤城線、富士山横塚線、上発知材木町線、日向南郷大原線の4か所。

目標：市内の主要幹線道路を対象として自動車騒音状況の常時監視を実施する。

実績：環境基準値達成率100%（707戸／707戸）

評価：B 引き続き測定を実施するものとする。

## 公害発生時の情報提供

### 大気汚染注意報発令時の連絡及び周知／環境課

内容：平成28年度は注意報の発令がなかったため、実績なし。

目標：光化学オキシダントやPM<sub>2.5</sub>の注意報発令時に、速やかに各関係部署や市民に注意を呼びかける。

実績：注意報の発令がなかったため、実績なし。

評価：D 実績がないのでD評価とした。

## 不法投棄対策（3-③）

---

### 地域との連携等による監視の強化

#### 不法投棄対策・パトロールの強化／環境課

内容：住民組織である環境保健協議会とも連携し、不法投棄禁止看板の作成・設置、情報提供等、地域と密着した不法投棄防止の啓発に努めた。また、職員により過去に不法投棄された現場などを中心にパトロール実施。

目標：月1回程度のパトロールを実施する。

実績：定期的にパトロールを実施。

不法投棄調査箇所15箇所、収集量不燃ごみ3,090kg

評価：D 不法投棄禁止看板の作成・設置や箇所を増やしてパトロールを実施することにより、不法投棄の防止に努めた。

しかし、本市は山間部も多く、人目につかない箇所も多いことから、不法投棄箇所の把握も難しい。

### パトロールの強化

#### 不法投棄対策・パトロールの強化／環境課

※上記事業と同じ

## 野焼き等の防止（3-④）

---

### 広報やホームページによる啓発

#### 広報ぬまたによる野焼き防止啓発／環境課

内容：広報ぬまた10月号に野焼きの防止を啓発する記事を掲載した。

目標：多くの報告が寄せられる野焼きの問題について、広報ぬまたへ記事を掲載し防止を啓発する。

実績：広報ぬまた10月号に野焼きの防止を啓発する記事を掲載した。

評価：D 効果の判断ができないためD評価とした。ただし、直近3年間を比較すると、本市へ報告される件数は減少傾向にある。

平成28年度：2件、平成27年度：4件、平成26年度7件

## 公共交通機関の充実（3-⑤）

---

### 利便性の高い公共交通機関の再編検討

#### 利便性の高い公共交通機関の再編検討／生活課

内容：平成27年度に新設した、沼田駅から利根中央病院までを運行する沼須線の定着を図ることで、通院などの利便性向上と、バス利用によるマイカー利用の抑制で環境負荷の少ないエコな移動手段維持を図った。また、他の路線についても運行費補助を行う事でエコな移動手段維持を図った。

目標：利便性の高い公共交通機関の再編によるバス利用者の増加に伴う環境負荷の軽減

実績：検討は行ったが、再編は行わなかった。

評価：D 再編を行っていないので効果の判断ができない。引き続き検討を行うものとする。

### 公共交通機関の利用促進

#### 公共交通機関の利用促進／生活課

内容：東急リゾートとの連携によるパーク&ライドや運賃引きを継続し、市内の小中学校に割引券付きPRチラシを配付した。また、平成26年度より作製しているチラシについて、新たな視点から利用促進を図るため、沼田女子高校にMAP部分を作製してもらい、駅などの人が集まる施設へ配布を行った。小冊子版時刻表も沼田女子高校が作製したイラストを挿入するなど、改良し、利根沼田管内の高校へ配布した。

目標：路線バスにおける観光客利用や、高校生など学生の通学利用を促し、バス利用者の増加による環境負荷の軽減を促進。

実績：委託10路線利用実績

平成27年度 51,954人 平成28年度 54,954人

評価：B 平成27年度の51,954人に対し、平成28年度は54,954人となり、3,000人増加した。この結果から、路線バス利用者の増加により自家用車の使用が抑制され、排気ガスによる環境への負荷低減に一定の効果があったものと推測される。

## 地域美化（3-⑥）

---

### 市内一斉清掃の実施

#### 地域美化・市内一斉清掃／環境課

内容：春秋2回の市内一斉清掃を実施。広報ぬまたへの掲載及びチラシの全戸回覧により、多くの市民の参加を呼び掛け、環境美化への啓発を行っている。

目標：各町への回覧を行い、多くの人に参加していただくよう周知を行う

実績：平成28年度

春 参加者11,709人 ゴミ収集量 29t

秋 参加者11,424人 ゴミ収集量 23t

平成27年度

春 参加者12,138人 ごみ収集量 29t

秋 参加者10,529人 ごみ収集量 23t

評価：B 昨年より参加者も増え、各町において区長・環境保健協議会支部長等が中心となり春・秋の2回に行うことにより、地域の生活環境が保たれたている。

今後も引き続き、各町への回覧を行い、より多くの方に参加していただくよう周知をしたい。

## ボランティア清掃の推進

### 地域美化・ボランティア清掃の推進／環境課

内容：生活環境を保全するために行った営利を目的としない清掃活動に伴って生じたごみについて、一般廃棄物処理手数料の減免を行うことにより、ボランティア清掃の推進を図る。学生をはじめとする各種団体が地域の環境美化のためボランティア清掃を実践した。

目標：実施団体の増加

実績：平成28年度 11件

平成27年度 17件

評価：B ここ数年実施団体数について、多少の増減はあるもののほとんど変わっていない。このような活動団体を普及啓発させていくことが課題である。

## 都市緑化の推進（3-⑦）

### 生け垣の奨励

#### 緑と花のあるまちづくり事業／都市計画課

内容：前年度に引き続き、地域の緑化活動に対して補助を行い都市緑化の推進を図った。

緑と花のあるまちづくり事業：道路沿線や多くの市民が訪れる場所での樹木・花の植栽活動に対し7万円以内の補助金

生け垣奨励事業：自己の敷地内で公衆道路に面して設置する生け垣に対し3.5万円以内の補助金

目標：生け垣奨励事業 3件 延長 30.0m 緑と花のあるまちづくり事業 20団体

実績：生け垣奨励事業 2件 延長 13.5m 緑と花のあるまちづくり事業 20団体

評価：B 前年度と同様に、地域の緑化活動に対して補助を行い都市緑化の推進を図った。平成28年度では、申請件数についてはほぼ目標どおりの結果であったが、生け垣延長においては、各戸で条件が異なるため差異が生じた。公道に面した生け垣3m以上が対象であることから、目標生け垣延長を10mから見直しする必要があると思われる。

平成29年度数値目標：生け垣奨励事業 3件 延長 15.0m

緑と花のあるまちづくり事業 20団体

## 都市公園や緑地の整備、拡大

### 都市公園等管理事業／都市計画課

内容：前年度に引き続き、都市公園等の管理を適切に行い、都市緑化の推進を図った。また、農林課苗木支給事業による低木（サツキツツジ300本）の植栽を実施した。

目標：管理面積：都市公園17箇所 272,785㎡ その他緑地等 12箇所 254,91㎡

実績：管理面積：都市公園16箇所 272,361㎡ その他緑地等 12箇所 254,91㎡

評価：B 平成28年7月1日に土地区画整理事業に伴う上之町ポケットパーク削除のため1公園減（424㎡減）となった。管理面積については前年度比面積率99.8%で前年と同様である。

年々、公園内の樹木は生長すると共に施設の老朽化は進行しており、それに伴う管理費用は多大であるが、今後とも工夫し、経費節減に努め、都市公園等の適切な管理と都市緑化の推進を図っていく。

### 中心市街地街なか再生関連事業／街なか対策課

内容：土地区画整理事業により生み出された道路予定地に花壇を設置し「やすらぎとうるおいのある街なか」を提供した。

目標：数値目標及び実績数値は定めず、四季を通した花苗の植え付けを目標として、市民等にやすらぎとうるおいが与えられることを目標としている。

実績：H27 草花植栽3,970株 H28 草花植栽3,240株

評価：B 利根実業高校等と協議し、予定通りの事業を行った。

本年度秋以降、上之町花壇が道路として整備され、花壇が少なくなるため、代替の方法を検討中。

### 都市公園や緑地の整備、拡大／社会福祉課

内容：アメリカシロヒトリ等害虫駆除作業

目標：害虫の発生を防止することができた。

実績：状況を確認しながら2回実施した。

評価：B 市の所有地でないため、作業に限界がある。

## 緑化、花いっぱい運動の推進（3-⑧）

### イベント等でのPR

#### 花いっぱい推進運動補助事業／社会教育課

内容：4月10日（日）に開催された「桜まつり」で、「花いっぱい運動広報宣伝会」として、ラベンダー苗500ポットを配布するとともに、6月10日（金）に花いっぱい運動実践地区（18団体）に花苗6,000ポットを配布した。

目標：宣伝苗配布…ラベンダー500ポット、実践地区への配布…花苗6,000ポット

実績：宣伝苗配布…ラベンダー500ポット、実践地区への配布…花苗6,000ポット

評価：B 前年度並の事業を実施したため。

## 景観の形成（3－⑨）

---

### 良好な景観形成に向けた景観条例制定の検討

#### 景観条例制定の検討／都市計画課

内容：他市の事例、計画内容、策定状況を確認し検討を行った。

目標：早期に景観条例制定作業に着手するべく調整を図る。

実績：早期に景観条例制定作業に着手するべく調整を図ったが着手時期は未定。

評価：D 市の景観条例を策定するにあたっては、職員体制及び予算などの確保が必要となる。

群馬県内の地域については、県の景観条例の対象区域となっていることから、一定の規制を行うための措置は図られている。しかし、群馬県は県内全ての自治体に独自の景観条例を制定させることを勧めていることから、沼田市についても景観条例を制定が課題となっている。

## 自然災害の軽減（3－⑩）

---

### 治山・治水事業の実施

#### 森林環境整備事業／農林課

内容：補助公共治山事業及び県単治山事業により山地災害の復旧・防止を図る。

目標：補助公共治山事業3箇所、県単治山事業5箇所、保安林リフレッシュ事業2箇所

実績：補助公共治山事業3箇所、県単治山事業5箇所、保安林リフレッシュ事業2箇所

評価：B 近年では、地球温暖化の影響とも言われている台風の大型化や局地的な集中豪雨の増加などにより、山地災害が発生しやすい状況にあることから、県などの関係機関と連携を図り、災害に対して迅速な対応を努めるとともに、治山施設の整備や機能の低下した森林整備を実施する必要がある。

## 放射線対策（3－⑪）

---

### 定期的なモニタリングの実施

#### 空間放射線量定点測定／環境課

内容：月に一度、市内各公共施設における空間放射線量を測定した。

目標：毎月、定期的なモニタリングを行い、市民に情報提供を行う。

実績：測定回数：12回（各月1回）

測定場所：本庁舎、各支所、各地区公民館ほか参考12箇所

本市が除染対象としている毎時0.23マイクロシーベルト以上の値は測定されなかった。

評価：B 引き続き、定期的なモニタリングを行うこととする。

## 測定機器の貸し出し

### 放射線量測定器貸し出し／環境課

内容：市民に対し放射線量測定器の貸し出しを行った。

なお、高い線量が検出された等の相談はなし。

目標：定期的に校正を行う等、市民から借用申請があった際に遅滞なく貸し出せるよう体制を整える。

実績：貸し出し回数：4件（4月：1件、5月：1件、8月：1件、11月：1件）

評価：B 数値目標等はないが、B評価とした。

## 食品検査の実施と情報提供

### 食品検査の実施と情報提供／生活課

内容：市民が自家消費を目的として栽培、採取、購入した食品を対象として検査を実施。結果は、本人へ知らせる他、沼田市ホームページでも公表し広く周知した。また、簡易検査において高濃度の放射性物質を検出した場合は、民間委託により精密検査を行うことで、より正確な数値の検出とその周知をはかった。

目標：検査を行い、確かに安全か否かを知らせることで、市民が抱える不安を解消することが目的であり、検査依頼が更に減少していくことが目標。

実績：簡易検査：13件

（玄米、しいたけ、たけのこ、チチタケ、長芋、ブルーベリー、緑茶等）

確定検査：1件 ※委託業者（株）環境技研へ依頼

（チチタケ）

評価：B 検査実施当初は、300件を超える依頼があったが、年々減少傾向にある。また、当初は、高い数値を検出する食品も多かったが、現在では測定下限値未満となることが多い。これらの結果から、市民が抱く不安も解消しつつあると判断できる。

## 空き家対策（3-⑫）

### 空き家の把握による対応策の検討

#### 空き家対策／建築住宅課

内容：各課で個別に受けていた空き家相談窓口を平成28年度から一本化した。平成28年度7月に沼田市空き家等対策推進会議を立ち上げ、関係課の連携の下、空き家の抑制等について検討を行っていくことになった。9月には、区長に各区の空き家件数実態調査を依頼し年度末には集計した。その結果緊急性を要すると報告のあった空き家から現地調査を開始し、所有者等関係者に維持管理等の指導を行っている。

目標：空き家実態調査を行い、平成28年度中に空き家戸数を把握する。

実績：市内空き家815戸（内 危険空き家65戸）

評価：B 具体的な数値を目標にはしていないが、市内の空き家個数を把握できたことは大きな成果である。

## 4 循環型社会の構築

### — 重点施策 —

#### ごみの発生・排出量の削減

ごみを出さない工夫をするとともに、分別を徹底し、市民・事業所・市がそれぞれの立場で考え、役割に基づいて行動し、ごみの減量化に努めます。

#### 廃棄物の適正な処理と資源化の推進

限りある資源を効果的に活用し、将来にわたって持続可能な社会を作るため、市民・事業所・市が連携して製造品の再生利用などに積極的に取り組みます。

### ごみの分別の徹底（4-①）

#### 環境保健協議会と連携した分別の推進

##### ごみの分別の徹底（環境保健協議会との連携）／環境課

内容：環境保健協議会と連携し、ごみステーションの維持管理等を強化。ステーションに出された分別できていないごみに対してルール違反シールを貼り、分別への意識の高揚を図った。また、分別周知看板をステーションに設置。

目標：分別を徹底し、再資源化量を増やし、ごみ量の減少を図る。

実績：○ごみ収集量（直接搬入量を除く）

平成28年度 12,895 t（平成27年度 13,357 t）

○再資源化量

平成28年度 2,470 t（平成27年度 2,631 t）

評価：B ごみステーションでのごみ収集量は、若干ではあるが減少傾向にある。このため効果はあるものと思われるが、再資源化量は若干ではあるが減少傾向にあるので、今後も環境保健協議会との連携を強化し、ルール違反ごみを減らし、分別の徹底を図って行く必要がある。

##### ごみの分別の徹底（ごみ再資源化の推進）／環境課

内容：広報・回覧・全戸配布により分別の周知徹底を図るほか、集団回収推進により再資源化を推進した。

目標：再資源化量を増やし、ごみ収集量の削減を図る。

実績：○ごみ収集量の状況

平成28年度 19,444 t（平成27年度 20,166 t）

○ごみ直接搬入量

平成28年度 6,446 t（平成27年度 6,559 t）

○再資源化量

平成28年度 2,470 t（平成27年度 2,631 t）

評価：B ごみ収集量及び直接搬入されるごみの量は、若干ではあるが減少傾向にある。  
また、再資源化量も若干ではあるが減少傾向にあることから、市民への周知を行い、より一層のリサイクルへの意識の高揚を図る必要がある。

### ごみの再資源化の推進

#### 文書事業（古紙回収）／総務課

内容：庁内に集積した行政文書等の古紙を適宜業者に回収してもらい、リサイクルを推進した。  
また、情報保護の観点から夏場に1回、業者に依頼の上、機密文書裁断車を庁舎駐車場に入れ、庁内の機密文書等に係る裁断作業を行った。

目標：前年度同様に、行政文書等の古紙回収を推進し、ごみの再資源化を図る。

（平成27年度実績数値）

歳入：古紙回収×12回（8.6トン、古紙売上代金44千円）

歳出：機密文書裁断×1回（2.6トン×手数料56千円）

実績：歳入：古紙回収×8回（6.6トン、古紙売上代46千円）

歳出：機密文書裁断×1回（1.7トン、手数料39千円）

評価：C 機密文書裁断における前年実績が下回ったことから、C評価とした。年1回の実施であるため、庁内周知を徹底するとともに、機密文書の取扱いに対する職員の意識啓発を図りたい。

#### ごみの分別の徹底（ごみ再資源化の推進）／環境課

※上記事業と同じ

## 廃棄物適正処理の推進（4-②）

### 廃棄物の適正な処理の推進

#### 環境保全型農業推進事業／農林課

内容：園芸用廃プラスチック適正処理推進協議会を通じ農業用廃棄物処理費用の助成を行った。

目標：廃ポリ・マルチ処理量 282,000kg

実績：廃ポリ・マルチ処理量 327,398kg

評価：B 前年度に引き続き、ほぼ目標どおりの廃ポリ・マルチが処理され、廃棄物の適正処理が進んだことにより、地域の環境保全が図られた。

### 焼却施設、最終処分場の適正管理の推進

#### 廃棄物適正処理の推進（焼却施設・最終処分場適正管理）／環境課

内容：上川田最終処分場 水処理施設維持管理点検 毎週1回実施

旧佐山最終処分場 水処理施設維持管理点検 毎月2回実施

浸出水及び放流水の水質検査 毎月1回実施

目標：水質の基準値以内の数値を維持

実績：基準値以内の数値

評価：B 定期的な点検及び検査により、水質も基準値以内の数値を維持しており、適正な管理ができているものと評価できる。

### リサイクル処理施設の整備検討

#### 廃棄物適正処理の推進（リサイクル処理施設整備検討）／環境課

内容：平成27年度中に広域化に向け利根沼田地区一般廃棄物処理広域化研究会を開催して検討した事項について、継続して検討。

目標：広域化に向けて継続して検討を行う。

実績：継続して検討を行った。

評価：D 広域化に向け検討段階であり、現時点では判断できない。

### 一般廃棄物最終処分場の整備検討

#### 廃棄物適正処理の推進（一般廃棄物処理施設整備検討）／環境課

内容：平成27年度中に広域化に向け利根沼田地区一般廃棄物処理広域化研究会を開催して検討した事項について、継続して検討。

目標：広域化に向けて継続して検討を行う。

実績：継続して検討を行った。

評価：D 広域化に向け検討段階であり、現時点では判断できない。

## 資源リサイクルの推進（4-③）

### 有価物集団回収の推進

#### 有価物集団回収奨励事業／環境課

内容：地域の自治会や育成会、PTAなどの登録を受けた非営利活動団体が、家庭から出る有価物を回収し市内のリサイクル業者へ引き渡す。回収量に応じて奨励金を交付し、団体の活動費として地域振興などに活用されている。

市民の再生利用可能な有価物への認識を高めてもらうとともに、ごみの減量化を推進するもの。また、回収された有価物を、回収するリサイクル業者に対して、物価の変動に関わらず回収を行ってもらうことを目的に、回収業者へ補助金を交付し回収支援を行った。

目標：登録団体、有価物の回収量の増加。

実績：登録団体・・・53団体

実施回数・・・288回

回収量・・・614t（紙類583t、金属類16t、生びん10t、その他4t）

評価：B ここ数年実施団体数について、多少の増減があるがほとんど変わっていない状況にある。

今後も引き続き継続し、実施団体のより一層の増加を図るため、事業のPR及び募集方法等の工夫が必要である。

## 5 地球温暖化の防止

### — 重点施策 —

#### 低炭素社会の実現

すべての市民、事業所、行政が当事者であり、主役であることを認識し、地球温暖化防止に向けた総合的な施策を展開するため、エコの実プランに基づき、地域で発生する二酸化炭素などの温室効果ガス\*の削減に取り組みます。

また、再生可能エネルギー\*の活用や森林による二酸化炭素の吸収機能を活用したカーボンオフセット\*事業を推進します。

平成19年度（2007年度）を基準年として、市内から排出される温室効果ガス排出量削減目標として以下の目標を目指します。

短期目標：平成32年度（2020年度）の排出量を基準年比13%削減

中期目標：平成42年度（2030年度）年の排出量は新たに設定される国や県の削減目標を踏まえて別途設定

長期目標：2050年排出量を基準年比60～80%削減

### 地域での温室効果ガス対策の推進（5-①）

#### 実行計画の策定による具体策の推進（エコの実プランの推進）

##### 第二次沼田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進／環境課

内容：前年度に引き続き、各部局において温室効果ガス排出量削減の取り組みを推進した。

目標：3,590,954kg-CO<sub>2</sub>

実績：3,916,137kg-CO<sub>2</sub>

評価：C 目標値を下回ったことからC評価とした。下回った原因としては、冬季の平均気温が低かったことによる燃料使用量の増加が考えられる。

課題として、震災以降は各部局において節電や省エネの意識が浸透してきたものの、個々の取り組みにも限界が見えており、新たな対策を研究する必要がある。

#### 緑のカーテンづくりの推進

##### 緑のカーテン事業／環境課

内容：緑のカーテン事業に参加できる個人、法人にゴーヤの苗等を配布し、成果写真コンテストを実施した。

目標：400世帯に苗等を配布する

実績：配布人数：107名

残った苗等を希望する公共施設に配布した後、本庁舎や東原庁舎、地域の公民館に東原庁舎で苗の配布を行っている旨の掲示をした。

成果写真コンテスト応募者：7名

評価：C 準備数に対し、配布できた人数が少なかったためC評価とした。課題としては、周知方法を工夫する必要がある。

#### 緑のカーテンづくりの推進／社会福祉課

内容：東原庁舎の南側全面をグリーンカーテンにすることにより、冷房設備の可動を減らすことで、地球温暖化の防止につながる作業を、環境課の協力を得て実施した。

目標：市民への周知活動を行うことができた。

実績：6月から9月まで設置を行った。

評価：D 設置場所に制約があり、植物の十分な生育が望めない。

### エコドライブの普及啓発

#### エコドライブ講習会／環境課

内容：谷川ドライビングスクールにおいて同教官を講師に迎え、例年と同様の内容でエコドライブ講習会を実施した。

目標：参加者6名（定員）

実績：参加者4名

評価：C 定員数の参加者を目標としていたが、達成できなかったためC評価とした。

課題としては、毎年参加者が少ないので、周知方法や啓発手法の見直しが必要である。

### 講演会等の開催

#### 地球温暖化問題講演会／環境課

内容：開催日：平成28年12月17日（土）

講師：寺川奈津美（気象キャスター・気象予報士）

テーマ：「お天気の変！みんなで考えよう地球温暖化」

目標：来場者数60名

実績：来場者数39名

評価：C 前年度と同じ目標値を立てたが、達成できなかったためC評価とした。

課題としては、毎年来場者が少ないので、周知方法や啓発手法の見直しが必要である。

### 出前講座や広報、ホームページによる啓発

#### 出前講座「家庭でできる地球温暖化防止活動」／環境課

内容：「市民協働のまちづくり出前講座」の一貫として、市民主催の学習会等へ環境課職員が出向き、「家庭でできる地球温暖化防止活動」をテーマに1時間の講座を行う。

目標：市民から講座依頼があった際に、対応できるような体制を整える。

実績：市ホームページに講座案内を掲載している。

評価：D 引き続き市民からの依頼により開催する。

## 再生可能エネルギーの活用推進（５－②）

### 太陽光、太陽熱利用の普及促進

#### 太陽光、太陽熱利用の普及促進／環境課

内容：地球温暖化対策における地球環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及推進を図る観点から、太陽光発電・太陽熱利用に限定した補助事業を、それ以外の再生可能エネルギー（地中熱ヒートポンプ、ペレットストーブ、蓄電池など）への補助対象を拡大して事業を実施する。

また、沼田市太陽光発電事業として、未利用市有地２地区（佐山地区・多那地区）において太陽光発電事業を実施する。

目標：住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金 補助申請件数 130件

（太陽光発電80件、太陽熱利用10件、エネファーム5件

蓄電池10件、HEMS10件、地中熱利用システム5件、ペレットストーブ10件）

実績：住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金 補助申請件数 84件

（太陽光発電62件、太陽熱利用1件、エネファーム1件、

蓄電池10件、HEMS10件、地中熱利用システム0件、ペレットストーブ0件）

沼田市として、市有地２箇所（佐山地区・多那地区）において太陽光発電事業を実施した。

評価：C 住宅用太陽光発電設備については、目標件数にはわずかに届かなかったが、電力買取価格が低下する中でも、今後も設備を導入する申請者も続くと思われる。太陽熱は今年度1件だけの申請となった。他のシステムについては、蓄電池が目標の数の申請があり、これからはより普及が進むのではと思われる。

市の事業としては、市有地２箇所（佐山地区・多那地区）において太陽光発電施設を設置して電気事業を開始する。（発電出力 佐山発電所291.5kW、多那発電所138.2kW）

### 小水力、マイクロ発電の導入検討

#### 小水力、マイクロ発電の導入検討／環境課

内容：平成25年度に実施した平川第一砂防堰堤小水力発電施設基本設計の精査を行い、事業の可能性を再検証する。また、その他小水力発電の可能性調査を続けて、引き続き検討を行います。

目標：小水力発電所の設置

実績：なし

評価：D 平川第一砂防堰堤小水力発電施設基本設計の事業性評価を実施した結果をもとに、平成29年度において事業実施の可否を決定するとともに、他の場所での小水力事業の可能性についても、引き続き調査検討を続けていきます。

### 小水力発電所／上下水道課

内容：自然エネルギーを活用した水力発電は、浄水施設の使用電気料の節減となり、水道事業経営に大きく貢献しているが、水力発電機器は更新時期を迎えているため日常管理と定期点検を実施し機能維持に努めた。施設見学者には、自然エネルギーを活用した発電施設として紹介した。

目標：浄水施設使用電力量の60%。

実績：収益換算額 4,251,700円 - 点検料 702,000円 = 実収益 3,549,700円

総使用電力 476,669kwh/年 水力発電電力 278,533kwh/年 使用電力割合 58.4%

評価：B きめ細かな運転管理を実施したが、使用電力の目標値を若干下回った。実収益については、プラスとなった。目標値を達成すべくよりきめ細かな運転管理に努め、機器等の日常点検を徹底する。

## バイオマスの利活用

### バイオマスの利活用／環境課

内容：住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金の中で木質ペレットストーブの設置補助を新設する。また、木質バイオマス（ペレットストーブ）等の公共施設への導入を検討する。

目標：住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金の中で木質ペレットストーブの設置補助を新設する。また、木質バイオマス（ペレットストーブ）等の公共施設への導入を検討する。

実績：木質ペレットストーブ設置に対する補助申請は0件であり、普及が進んでいない。

評価：C ペレットストーブの機能や性能、また、ペレットストーブ自体が良く知られていないことも普及が進まない原因でもあると思われる。

ペレットストーブを紹介する意味からも公共施設への導入を検討していきたい。

## 地域の特性を活かしたエネルギーの導入検討

### 地域の特性を活かしたエネルギーの導入検討／環境課

内容：沼田市再生可能エネルギー導入方針を策定し、地域の特性にあったエネルギーの把握と具体的な導入方針を明らかにする。

目標：沼田市再生可能エネルギー導入方針の策定

実績：沼田市再生可能エネルギー導入方針を策定した。（平成28年3月）

評価：D 沼田市再生可能エネルギー導入方針は、沼田市域の特性にあったエネルギーを把握した上で目指す将来像と導入方針を示して、市が行う具体的な取り組みを示したもので、設定した目標を達成するため、全庁的に連携を図りながら取り組む必要があります。今後は、この導入方針に沿って、具体的な計画を立てて再生可能エネルギーの導入を図っていきたい。

## 6 協働による環境像の実現

### — 重点施策 —

#### 市民・事業所・市の協働による環境問題への取り組み

環境問題に関する市民の役割、事業所の役割、市の役割を明確にし、三者が一体となり、かつ主体的に環境問題に取り組めるよう、情報の共有や組織づくりを進めます。

#### 環境を保全する人づくり

講習会や研修会、自然観察会等を通し、率先して環境保全に取り組むリーダーを養成します。

### 環境活動団体との連携（6-①）

#### 「ぬまた環境ネット」への加盟団体の拡大

##### 「ぬまた環境ネット」への加盟団体の拡大／環境課

内容：ぬまた環境ネットの情報誌「ぬまた環境ネットだより～ぬまたの環～」を発行し、加盟団体の活動紹介や新規加盟団体の募集等を行った。

市ホームページでも加盟団体の紹介と新規加盟団体の募集を掲載している。

目標：加盟団体の拡大

実績：平成28年度における新規加入団体はなし

評価：C 引き続き新規加入団体を募集する。

#### 加盟団体相互の情報の共有化

##### 「ぬまた環境ネット」加盟団体相互の情報の共有化／環境課

内容：加盟団体の代表者会議を開催し、加盟団体相互の情報交換を行った。

目標：加盟団体の代表者会議を2回開催する。

実績：加盟団体の代表者会議を2回開催した。

評価：B 予定どおり会議を開催し、情報共有化が図られたためB評価とした。

#### 加盟団体活動の支援

##### ぬまた環境ネットへの事業委託／環境課

内容：・ブナの幼木移植 ・蛍光管リサイクル工場の見学 ・マイバックキャンペーン  
・東毛地区見学 ・食生活を通しての環境学習会 ・ごったくまつり  
・アフガニスタンにランドセルを送る運動 ・はたおり教室  
・親子体験事業 ・ネイチャークラブ ・環境フォーラムぬまた

目標：8事業（前年度実績）

実績：11事業

評価：A 前年度よりも各団体の活動が活発化し、事業数も増えたためA評価とした。

## 高等学校との連携強化

### 高等学校との連携強化／環境課

内容：各種啓発イベントで連携することにより、啓発活動を効果的に行った。

目標：高等学校との連携を強化し、効果的な啓発を行う。

実績：・利根実業高校との連携

緑のカーテンのゴーヤ苗の育成及び配付イベントの参加

・尾瀬高等学校との連携

環境フォーラムぬまたへの出展及び玉原高原におけるブナの幼木移植の参加

評価：B 予定どおり、各種啓発イベントにおいて連携が図られたためB評価とした。

## 環境啓発イベント等の開催（6-②）

### 「環境フォーラムぬまた」の内容充実

#### 環境フォーラムぬまた／環境課

内容：市内環境団体による出展により、来場者への環境啓発を行った。気象予報士の関口奈美氏を講師に招き、環境講演会を行った。

目標：前年度実績数値

映像上映会：64人、牛乳パックとトイレットペーパーの交換：トイレットペーパー971個、交換人数218人、牛乳パック310kg、古着・古布の回収：44人、230kg、ランチセット販売数：138食

実績：環境講演会：約160人 牛乳パックとトイレットペーパーの交換：トイレットペーパー895個、交換人数197人、牛乳パック290kg ランチセット販売数：151食（天ぷらうどんセット130食、おにぎり21食）

評価：A 特に環境講演会（前年度、映像上映会）において、人数が前年度よりも多かったためA評価とした。

## 講演会等の開催

### 光害星空観察会／環境課

内容：人工の光が自然環境に及ぼす影響を体感してもらうため、市内2箇所（沼田市役所東原庁舎、利根町多那）で星空観察を行った。

目標：定員20名

実績：参加者8名

評価：C 募集定員に対して参加者が少なかったためC評価とした。周知方法を工夫していく必要がある。

## 環境教育の推進（6－③）

---

### 家庭や事業所などでの環境教育の推進

#### 親子環境教室／環境課

内容：講義と料理作りを通して、フードマイレージ（地産地消の推進）、ごみの減量化、節水、省エネについて親子で学ぶ親子エコ料理教室を開催した。

目標：4組以上の参加

実績：参加者3組7名

評価：B ほぼ目標どおりの参加人数となったのでB評価とした。引き続き継続実施する。

### 保育園、幼稚園、小中学校における環境教育の推進と充実

#### 地球温暖化防止ポスター・標語・作文コンクール／環境課

内容：市民を対象とした地球温暖化防止に係るポスター・標語・作文のコンクールを行った。  
12月3日（土）から12月18日（土）までの間、沼田市中央公民館で作品を展示し、  
12月18日（土）に表彰式を行った。

目標：前年度応募数 ポスター138 標語402

実績：今年度応募数 ポスター136 標語444 作文58

評価：B ポスターと標語に関して、前年度応募数とほぼ同じ実績数値であったのでB評価とした。

#### ふるさとの魚放流促進事業／農林課

内容：春には放流事業を行い、秋には釣り教室を実施した。

目標：放流…11校 釣り教室…11校 放流稚魚…約10,000匹

実績：放流…4校 釣り教室…2校 放流稚魚…約10,000匹

評価：C 市内全校を対象として本事業の呼びかけを行っているが、参加する学校の事情等により参加した学校は少ない。

引き続き、参加できる学校が増えるよう呼びかけを行いたい。

#### 環境教育用太陽光発電施設の設置／庶務課

内容：沼田小学校西校舎大規模改造工事での環境教育用太陽光発電施設の設置

目標：設置数1基 規格5kw程度

実績：設置数1基 規格5kw程度

評価：B 予定どおりの規格で予定数を設置することができた。

今後も幼稚園・小中学校への太陽光発電施設の設置について推進を図りたい。

### 尾瀬学校事業／学校教育課

内容：群馬県「尾瀬学校」補助金の活用により、市内各小中学校における環境教育の充実に向けた体験学習や尾瀬の自然見学が充実できるよう指導助言した。

目標：平成28年度計画 小学校：10校／454人、中学校：1校／27人

実績：平成28年度実績 小学校：10校／452人、中学校：1校／26人

評価：B 群馬県「尾瀬学校」に小学校10校（452人）、中学校1校（26人）が計画どおり参加し、環境教育の充実に向けた体験学習や尾瀬の自然見学を実施することができた。

### みどりのカーテン等環境活動推進委託事業／学校教育課

内容：環境学習の一貫として、市内各小中学校及び各幼稚園において、アサガオ等の蔓性の植物による学校（園）内等の緑化による冷房効果を促進するとともに、児童・生徒・園児の環境教育を推進する。

目標：みどりのカーテン設置の協力依頼を行う。

実績：28年度設置校（園） 小学校：3校／11校、中学校：1校／9校、  
幼稚園：5園／5園

評価：B 市内小中学校及び幼稚園において、グリーンカーテンが小学校3校、中学校1校、幼稚園5園とほぼ予定どおりに設置され、学校（園）内等の緑化による冷房効果を促進するとともに、児童・生徒・園児の環境教育を推進することができた。

### 小中学校における環境教育の推進／学校教育課

内容：・「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にし、総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図る。

・学校支援センターの機能の整備により環境に係る様々な活動を地域で行っている人材や環境教育の専門家等の活用を推進した。

・市内各小中学校及び幼稚園において、家庭・地域に協力を依頼して資源回収を実施した。

目標：「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にして総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図る。

実績：○アルミ缶回収：6校3園 ○空き瓶回収：6校3園 ○ペットボトル回収：5校  
○古紙・段ボール回収：4校3園 ○牛乳パック回収：2校2園 ○その他回収（古着・  
廃油等）：4校2園 ○エコキャップ運動：11校1園 ○ベルマーク運動：3校 ○共  
有林下草刈り：2校 ○通学路清掃等：10校 ○ボランティア活動の日の清掃活動：  
18校

評価：B 「環境教育全体計画」整備状況の確認指導を通して活動のねらいを明確にし、総合的な学習の時間、道徳、各教科等と関連づけた学習の推進を図るとともに、市内各小中学校及び幼稚園において、家庭・地域に協力を依頼して資源回収を実施した。

## 食育の推進

### 食育推進事業／子ども課

内容：6月の食育月間を中心に、公立保育園6園において食育の取り組みを実施した。

ぬまた南保育園（野菜の苗植え、収穫、試食、焼き芋大会）、ぬまた東保育園（野菜の栽培と焼き芋大会等）、川田保育園（食材の皮むき体験、野菜の栽培、収穫試食）、白沢保育園（野菜の栽培、収穫試食、カレー作り）、利根保育園（野菜の栽培、収穫、調理体験、試食）、多那保育園（野菜の栽培）、収穫試食、カレー作り）

実績：目標実施園・・・6園（全公立保育園）

実施園・・・6園

評価：B いずれの園においても趣向を凝らした食育の取り組みが行われ、園児と保護者が楽しみながら食材や献立について関心を持つことができた。

### 環境フォーラムぬまたへの参加／健康課

内容：【開催日】 平成28年6月26日（日）

【試食品】 かぼちゃと甘納豆の蒸しパン

【展示】 根菜の皮、長ねぎの青い部分等を使った料理  
残ったきんぴらのリメイク料理 など

【パネルの展示】 無駄を省く「買い物」「料理」「片付け」のポイント

【レシピの配布】

目標：試食数・・・300食

実績：試食数・・・280食

評価：B 試食目標数をおおむね達成できた。

料理の実物を見たり食べたりすることは、とてもよい指導媒体である。今後も無駄のでない料理を紹介していきたい。

## 緑の少年団の育成

### 緑の少年団育成事業／農林課

内容：緑の少年団による緑化研修での「緑豊かな地域づくり事業」及び緑の少年団活動に対する補助を行った。

目標：緑豊かな地域づくり事業 11校 緑の少年団活動費補助 11校

実績：緑豊かな地域づくり事業 5校 緑の少年団活動費補助 11校

評価：C 緑の少年団活動補助については、市内全校へ緑の少年団活動費を補助することにより学校内での緑化活動の推進が図られた。

緑豊かな地域づくり事業については市内全校に呼びかけているが、事業実施する学校は前年度並みであった。

引き続き、呼びかけを行いたい。